

## 心に響く人生の達人セミナー

H19. 11. 16 (金) 13:00～

講師 エスケイジャパン社長 久保 敏志 氏

講師紹介が紹介ビデオで行われた。内容は、昭和36年、長崎県福江市（現・五島市）生まれ。県立五島高校卒業後、ビジネスホテル勤務を経て、サンリオの創業メンバーが設立した玩具の卸会社に就職。28歳で独立し、キャラクター商品を企画、販売するエスケイジャパンを大阪市に設立。主に、ゲームセンターにある水槽のような機械の中に入っているぬいぐるみなどの景品を、アームを操作してつかみとるクレーンゲーム機の景品を企画、販売している会社を設立するまでを紹介するものであった。

以下久保さんの講話より

私は、五島高校の出身で、この奈留高校も元々は五島高校の分校で、身近に感じる。ここに来る前に奈留島の観光をしてきたが、城岳は五島の島々が見渡せ、絶景であり、大自然に囲まれた奈留はとてもすばらしいところである。自社でも五島出身の社員が十数名いる。今日は、自分の経験が何かみなさんの役に立てればと思いを話をする。



講師 久保 氏

私の家は農業をしており、学生の頃、勉強はあまり好きではなく、友達といっしょにるのが好きだった。家にいると農業の手伝いがあり、それが嫌だったので、何か用事を作っては休みの日も学校に行っていた。

私は、高校時代は新聞配達をしていた。学校では「知識」を学ぶが、これに対し、私は新聞配達の中で、「知恵」を学んだ。この「知恵」は早いうちにつけておいた方がいいもので、将来役に立つものである。私が新聞配達をしていると、配達している家に中には牛乳やヤクルトをとっている家もあった。そこで、「同時に配達すればいい。」と思い、牛乳・ヤクルト配達も始め、さらに、新聞だけをとっている家庭には牛乳・ヤクルトを勧め、逆に、牛乳・ヤクルトだけをとっている家庭には新聞を勧めた。普段の働きぶりがよかったことや、顔見知りであったということもあり、購入者が増え、配達部数が2倍になり、バイト代も2倍になった。ここで私は「商売の知恵」を学んだ。また、試供品を友達に配っ

たりすると、友達がバイトを手伝ってくれ、友達は大事だなとつくづく思った。バイト代は長崎に行き、遊ぶことに使った。

高校3年生のときは進路のことで悩んでいた。親戚で競艇選手を目指している人がいて、その人の勧めで競艇選手の試験を受けることになり、五島魂でがんばった。1次試験に受かることができたが、2次試験で落ちてしまった。

その後、知り合いの紹介で福岡のビジネスホテルに就職、そこで一生懸命働いた。勤務後、ボクシングジムに通い、そこでプロのボクサーにこてんぱんにやられる経験もした。ホテルの宿泊率を上げるために、お客さんの名前は必ず覚えようと思い、実行した。そんな中、お客さんの中にサンリオの創業メンバーで退職して玩具の卸売会社を福岡で立ち上げた人がいて、いっしょに仕事をしないかと誘ってくれた。ここで感じたのが、「コミュニケーション能力」の大切さ。お客さんの名前を覚え、話をするだけで、声をかけてもらえたと思う。会社では新規の顧客開拓担当で、フットワークをいかし、九州内の百貨店をめぐり、業績を上げていった。このとき、会社での上司、先輩がそうであるように、「いい師匠」を見つけることが大事だと思った。小学校のとき、成績が良かった科目が「算数」と「社会」であった。この2科目が教科として好きだったのではなく、その先生が好きだった。何かあったときにかまってくれたし、「目標を持ってやればできる。将来のためにやれ。」と言って下さった。



**聴講する生徒**

その後、勤務していた福岡の会社が大阪に営業所を置くことに決まり、所長として大阪に赴任することになった。大阪のお客さんは、田舎から出てきた人にやさしくとても良くしてもらった。私はそこでも五島魂でがんばった。しかし、そのころから、業績が伸び悩むようになっていった。私は、「アミューズメントに進出しましょう。」と社長に提案をしたが、却下された。そこで私は、10年間働いた会社を辞め、28歳の時に独立して、「SK（サトシクボ）ジャパン」を設立した。設立時、協力してくれたのが高校時代の友達だった。そこから、事業を順調に拡大し、今では東証と大証の一部に上場することができた。

最後に、私にとって、学校で、会社で、「いい師匠」に出会えたことがとても良かったということ。友達とのコミュニケーションが大事だということ。さらに、「親・兄弟を大事にしてください。」ということをお客さんに言いたい。これができないと、他人を大事にすることはできない。これから、みなさんが社会に出ると、仕事に追われ、親・兄弟・恋人などと会

う時間がなくなってくる。だからこそ、今、親・兄弟を大切に下さい。

全国には五島出身で成功している人がたくさんいる。素直な人柄であることが理由かもしれない。みなさんも奈留の大自然の中で育って、素直な気持ちを持っている。ぜひ、将来、様々な分野で活躍してほしい。私も自分の会社が、夢を与える企業であり続けたいと思っている。